# ベランダで運



を育てる本

# ベランダで蓮を育てる本・追補版

# ◆ もくじ ◆

はじめに2
ベランダで蓮を育ててみよう ~ 栽培 Tips 改訂版 ~ 3 蓮についての基礎知識 / 育てる前に確認すること / 蓮を入手する・買う 蓮根が届く前に用意するもの / 蓮根が届いたら / 日常の手入れ 株分けと植え替え / 種から育てるには / 病気とか虫害など
ベランダ週報リファレンス ~ <i>参考文献 ~</i> 19
蓮と睡蓮の見分け方 2-

## ● はじめに ●

『ベランダで蓮を育てる本』を出して半年余りが過ぎました。

改めて読み直してみるといろいろ至らない点が目立って恥ずかしく、封印してしまいたくなったり、いっそ気になる部分を全面的に見直して改訂しようかとも思いましたが、気になる部分を全部書き直しても恐らくまた何かしら気になり始めるんだろうということで、追補版を作りました。

旧版でいちばんの問題点だったコストを押さえるべく、いろいろ試行錯誤の結果、こういうかたちに落ち着きました。コストが嵩むいちばんの原因だった自分自身の栽培記録は削り、純粋に育て方の部分だけを抜き出してまとめてあります。

蓮を育ててみたいけれど、いまいちわからないことが多くて踏み切れない... ...なんて方に読んで頂ければと思います。

2004.8.15 石川 霜

# **必**ベランダで蓮を育ててみよう**必**

蓮を育てるにあたって調べたことや、実際育てている間に知ったこと、教わったことをまとめた Tips です。 個人的な意見も多く入っていますし、又聞き情報など信頼度が低いものも混ざってしまっている可能性もありますが、参考になれば幸いです。

#### ◇◆◇ 蓮についての基礎知識 ◇◆◇

**蓮の学名**: Nelumbo nucifera (東洋種)

Nelumbo lutea (黄花蓮)

Nelumbo = 八ス属。スリランカでの蓮の現地名から由来 nucifera = 堅い果を持った | lutea = 黄色い

ハス科 (Nelumbonaceae)・ハス属。昔はスイレン科 (Nymphaeaeceae)の中に含まれていましたが、スイレン科の 植物と大幅に違うため、今では独立した科になりました。

カスピ海沿岸あたりから南アジア、東南アジア、オーストラリアあたりまでのユーラシアを原産とする種(東洋種、一般的なピンクや白の蓮はほとんどこちら側)と、北米大陸を原産とする種(キバナハス。蓮で花弁が黄色みを帯びる園芸品種は、たいていこのキバナハスの遺伝子をどこかで受け継いでいるらしい)があります。

「Gaertner」が後ろに着いてる 場合もあるみたいです。これは 植物学者の名前かな。

Nelumbo caspicum (カスピカム)を3つ目の原種として数える場合もありますが、caspicum は nucifera と同じだという説が強く、また、Lutea すら nucifera の変種だとする考え方もあるそうです。

#### 蓮のあれこれ

蓮は節のある地下茎を持ち、その節のつなぎ目から葉と花と根を出します。葉と花はいずれも、1つの節から1つずつしか出てきません。ですから、蓮の生長は地下茎の節がどれだけ増えるか(地下茎がどれだけ伸びられるか)に大きく左右されます。

蓮の根は地下茎の節からしか出ていないので、追肥をするときなどは葉や花の根元を避ければ根を傷つけてしまうのを防げます。

一節の地下茎に花1つ、葉1つが生えること、あるいは漢字の「蓮」の読みが「恋」や「憐」と通じることから、中国では昔から恋人や愛人のシンボルとして愛されているそうです。インドでは富と愛の女神ラクシュミーのシンボルであったり、や東南アジアなどでもさまざまなプラスのイメージを持たれて愛されています。

蓮の茎には蓮根と同じく空気の通る穴があいています。この穴は地下茎まで続いているので、茎を水中で切ってしまうと地下茎まで水が入ってしまいます。枯れた花や葉を取り除くときは水面より上で切った方がいいらしいです。

蓮の花の香りは雄しべにいちばん多く含まれます。ですから雄しべが少ない八重の品種や、そもそも雄しべができない 妙蓮のような品種はあまり香りがないようです。

蓮は蓮根、茎、若い葉、花、実などほぼすべてが食用・薬 用になります。また葉を調理に使ったり、硬い実を念珠に加 工したりという利用もされています。

若い蓮の実は生食もできます。でもトリカブトに含まれているのと同種の強心作用を持つアルカロイドを微量含んでいるらしいので、あまり食べ過ぎない方がいいかもしれません。

蓮はインド、スリランカ、ベトナムなどの国花と言われます。 睡蓮はエジプト、タイ、カンボジアなど。

ただし他の花が挙げられること (タイはラーチャブルック(ゴールデンシャワー)ペナナムは 竹、カンボジアは稲など)もあ ります。国花は必ずしも法律で それと決められているわけでは ないので、1つとは限りません し、時代によっても変化してい くのかもしれません。

ちなみに日本も法律で決まった 国花はなく、一般的に桜と菊っ てことになってますよね。

ベトナムの蓮茶は、開花直前の 蓮のつぼみに茶葉を入れて紐で 縛り、翌朝開いて雄しべと茶葉 を取り出して使います。 これは簡易版で、もっと本格的 に作るには、開花初日の蓮の雄 しべをたくさん集め、ジャスピ と同じように茶葉に混ぜて 寝かせて取り出して乾がしてま を新しい雄しべをきつです。 何度も繰り返すそうです。

日本で「蓮茶」として売られているものは、花の香りを移したものの他に花を丸ごと乾かしたもの(台湾で飲まれている) 花ではなくて葉を刻んで乾かしたもの、あるいは実の芯だけを集めたものなどがあります。

ベトナムでは若い実のついた果 托を生食用に束で売っているそ うです。

試しに家のカスピカムの実を食べてみました。 青臭さがありますが、栗のような感じでそれなりに美味しかったです。

#### 蓮の牛育:春~花が咲くまで

まず最初に、立ち上がらずに睡蓮の葉のように水面に浮かぶ小さな「浮き葉」を出します。地下茎が一節伸びるごとにその節から1枚の葉が伸びてゆきますが、この地下茎はいわゆる「蓮根」とは違ってあまり太くならず、土の中でぐるぐる這っているので「這い根」と呼ばれます。

順調に生長していれば、浮き葉が何枚か出たあと、葉柄が 太くしっかりしていて水上に立ち上がって大きく開く「立ち 葉」が出始めます。

梅雨に入る前後くらいになると立ち葉が増えてきます。早 ければもう花芽が出てくることもあるそうです。

立ち葉の葉柄の根元についている鞘の中から、葉柄に寄り添うように小さな芽(見た目はニンニクの芽)が出てきたら、それが花芽です。

花芽は3週間くらいかけてゆっくりと生長しますが、小さいうちに触ったり傷つけたりすると枯死してしまいがちです。また、早い時期に花芽が出た場合、株がまだ未成熟で体力不足だったり、梅雨時で低温や日照不足が続いたり、といったことが原因で咲かずに枯死してしまう可能性も高いです。でも初期の花芽が枯れてしまっても、地下茎が生長している限りまた次の芽がきっと出てきますから、最初のうちに多少失敗があってもあまりがっかりせず次を期待しましょう。

花柄が葉柄と並ぶくらい伸びるころにはつぼみも大きく膨らんできます。 花芽の外側にある苞は、東洋種の蓮では花が咲くころには落ちてしまいます (西洋種では花弁が散っても苞だけ残っている場合も多いそうです)。

這い根は泥の中で比較的表面近くを這うことが多く、浅い容器 だと泥の上やときには水上にまで飛び出してくることもあります。多少飛び出ても問題ないですが、なるべくなら飛び出さない方がいいような気もします。

いつまで経っても立ち葉が出てこない場合、何らかの問題があったと思われます。



花芽

蓮の茎には、かなり硬いとげと げが生えています。強い風にあ おられて、花芽が茎に強くこす りつけられた......なんてことが 枯死の原因になる場合もあるの で、注意が必要かもしれません。

こういう よじれた 花芽は、 ちゃんと 咲かない ことが多 い。



品種によっては、葉より高く伸びてから花が咲くものもあれば、葉と同じくらいか葉の下で咲いてしまうものもあるらしいです。

立ち葉があまり出ないうちに花が咲く品種もあります。

#### 蓮の生育: 開花~結実

花はだいたい3~4日間咲いています。

1日目は半開きで花弁はあまり広がらず、雄しべは花托に 寄り添うようにくっついています。うちで育てているカスピ カムの場合、花弁の形自体もぽっこり丸っこい感じです。早 朝まだ暗いうちから開き始め、9時過ぎにはもう閉じてしま います。お昼には何事もなかったかのようにつぼみの状態に。

2日目、花弁は根元から広がって完全に開きます。雄しべ も広がり、花托の根元まで見えるようになります。閉じ始め るのが少し遅くなり、お昼過ぎになっても1、2枚忘れたよ うにほつれた花弁が残っていたりします。

花托の上の雌しべがみずみずしく、雄しべの葯は白く、花 弁はぱあっと広がって、いちばんきれいに見えるのがこの2 日目の蓮だと言われます。

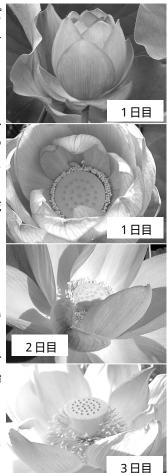
3日目の様子はほぼ2日目と同様ですが、開き具合がさらに大きくなり、花弁が心なしかくたびれ、雌しべは黒く乾いて縮み、雄しべも黒ずんでくるので区別できます。

一応午後には閉じますが、今までのようにちゃんとつぼみ には戻らず、ほころびたまま。早いものではこの日に散り始 めてしまうそうです。

4日目は開いたらもう閉じることはなく、天候にもよりますが昼過ぎにははらはらと散っていきます。

散ったあと、受粉が成功していた場合は花托が徐々にふくらみ始め、蜂の巣のような形になっていきます。よく見かけるドライフラワーの蓮の実は大型のものが多いですが、茶碗蓮のような小さな花では花托も小さく、雌しべが数個しかないので蜂の巣というにはちょっと寂しい感じになります。

曇天続きだったりすると、4日 目に散らずにもうちょっと咲い ている場合もあるみたい。



蜂の巣=はちす=はす、という ように、この実の形状が蓮の名 の語源だという説もあります。

いわゆる「蓮の実のぶつぶつ」 が苦手な人も、超小型の蓮なら 耐えられるかも..... 東京の場合、8月半ばを過ぎたくらいからつぼみが出てこなくなります。花の時期の最後に、一番大きくて背の高い立ち葉(止め葉)が出ます。

止め葉が出ると、地表近くをぐるぐるしていた地下茎が深く潜るように方向を変え、来春芽を出すための栄養を蓄えた太い「蓮根」を作り始めます。つまり地下茎はこれ以降もう伸びません。だから止め葉が出た後は、小さめの葉がちらほら出ることはあっても、ちゃんとした大きな葉はもう出て来ません。

新しい葉が出てこなくなったら花は終わり......と考えればいいと思います。

容器栽培だと、季節的にはまだまだ生長するはずの時期でも、土の中で地下茎が詰まってそれ以上伸びる余裕がなくなってしまえば、生長も止まってしまいます。ですから最低限ギリギリの大きさの容器で育てるよりもできる限り大きめの容器を使った方が、のびのび育ってたくさん花を咲かせてくれると思います。

#### 蓮の生育: 冬支度

秋が深まるにつれ、地上では葉が徐々に枯れていきます。 でも、その間に地下では蓮根が着々と太っているので、葉が 枯れてしまうまでは肥料をやったり日に当てたりしてあげて ください。

冬の間は水のことを忘れがちですが、葉が全部枯れてしまっても決して水を涸らさないように注意します。

その年の天候や育てる品種によってはもう少し咲くかもしれません

「これが止め葉だ」とはっきり見てわかるものではないと思います。あとになって「ああ、あれが止め葉だったんだな」と思い当たるようなものです。

花を観賞するための花蓮の蓮根は、八百屋さんで売っている食用蓮の蓮根のような太さはありません。 這い根に比べたら太いということです。

このことを考えると、ベランダでは無理に大きなサイズの蓮を育てるよりも、小型の品種を適当なサイズの容器でゆったり育た方がいいんだろうなと思います。

### ◇◆◇ 育てる前に確認すること ◇◆◇

蓮を育てることはそれほど難しいことではないと思います。 もちろん失敗は多いですが、わかっていれば避けられる失敗 もあります。カタログを眺めて、「この花がいい!」と思って 購入する前に、最低限の環境を整えられるか確認しましょう。

#### 置き場所の構造・耐荷重量・アクセスなど

……そんなに大それたものではないんですが、構造によっては、あまり重たいものを置くと危険な場合があるかと思います。蓮を置こうと思っているベランダがどれくらいの重さに耐えられるのか、不安な場合は調べてみてください。

また、耐荷重量が問題なくても、たとえば外付けの急な階段や細いハシゴでしか登れない屋上だったり、出入り口の間口が狭かったりすると、鉢や土の運び込みやゴミ出しが大変になるのは言うまでもありません。

#### 日当たりや風の通り具合

蓮はとにかく日当たりが重要です。真南向きのベランダで も、実際には手すりなどで影が落ちてしまう場合もあり、そ ういう状態だと生長に影響が出ます。秋~冬は休眠するので あまり気にしなくていいけれど、春先~夏の間、なるべく長 く、多く、日の当たる場所が栽培に向いています。

また、風の通り具合も考慮した方がいいかもしれません。 あまり強い風が常に吹くような場所だと、倒れやすくなるし 水の蒸発も早くなるし、熱帯性睡蓮のペットボトル仕立てな ど小さな容器で育てているものは突風でひっくり返る恐れも あります。 古い一軒家にあとから作りつけたベランダで、地上から柱を立ててないようなものとかね。

考えてみれば当たり前だけど、案外気付かなかったりします。

多少見栄えが落ちても軽いプラ スチックの桶を選ぶとか、土も 水も少しで済む小型品種を探す とか、工夫すしてよい解決方法 を探してみてください。

蓮ではありませんが、睡蓮の中にはペットボトル半分程度の器でも育つ種類があります。日当たりさえ確保できればペランダが無くても、窓の手すりなどでちゃんと育てられます(落下防止策は忘れずに)

霰や雹の降る可能性がある地域では、雨よけ対策も考えておいた方がいいです(せっかく伸びた葉がボロボロになってしまうと悲しいので)。

#### 水回りの問題

平べったい鉢の方が日当たりがよいし、水温が上がりやすいのでお薦めなんですが、そのかわり水の蒸発も早くなります。夏場は毎日、日によっては朝晩2回水を足す必要が出てくるかもしれません。

最初のうちはバケツで水くみも楽しいものですが、毎日となるとだんだん辛くなってきます(しかも炎天下)。なるべくならホースを回せるようにしておくといいと思います。

また、植え替えやメンテナンスで水をオーバーフローさせるときなど、水はけの悪いベランダやすのこ状のベランダでは下の階に雨を降らせてしまう可能性があります。そういうタイプのベランダで育てたいなら、水換えの方法について事前に考えておく必要があると思います。

あれこれ書きましたが、実際に育ててみないとわからない ことも山ほどあります。あまり気にせず、でもわかっている トラブルの原因はできれば先に対処しておこう......って程度 の感覚で十分だと思います。

#### 品種の選択

蓮にはいろんな園芸品種があります。

好みは人それぞれ、自分の好きな品種を育てるのが一番楽しいことですが、「どうしてもこれが育てたい」という思い入れがあるのでなければ、好みよりも育て易さを優先して選ぶのも手です。

とくにベランダでの栽培はいろいろ制限があり、もともと 気難しく花が咲きにくい品種を育てようとしても、なかなか 思うようにいかない可能性が高いです。

いくらあこがれの品種を手に入れても花が咲かなくては寂しいもの。それなら育てやすい品種をピックアップして、その中から自分の好みに近いものを選択する方がいいのではないかと思います。

蓮を手に入れるには、

- 1.池や沼などに生えている蓮の種を拾ってくる
- 2.既に育てている人から種や蓮根を分けてもらう

◇◆◇ 蓮を入手する ◇◆◇

3. 市販の蓮根や苗を買ってくる

と、大ざっぱに分けて3パターンの方法があると思います。 このうち1番目の方法は、近所に蓮の自生地がなければできません。また2番目も、知り合いにいなければ難しいことでしょう(運が良ければ大規模に栽培している公園などで手入れをしているときに、余った蓮根を分けてもらえることもあるかもしれません)、いちばん手っ取り早く、なおかつ誰でも可能なのは3番目、市販品の購入ということになります。

なお、店で売られている蓮は原則として蓮根か苗 (開花済みの鉢植え含む)か、どちらかです。種で売られていることは滅多にありません (水生植物園などではお土産を兼ねて売られていることもあるかも)。

蓮根から育てる場合、桜が咲く頃~散って葉桜になる頃に 植えつけるので、市場に出回るのはそれ以前の時期に限られ ます。

苗を買う場合は蓮根よりも遅い時期に入手可能ですが、蓮は植え替えをとても嫌うので、なるべく植えつけ済みのものを買うことをお薦めします。お店の人に「この鉢では小さいから、もっと大きな器に植え替えて」と言われるかもしれませんが、よっぽど小さいポット植えでない限り、小さければ小さいなりの生長をしますからそのまま育てた方が無難です。

大きい容器に植え直したいときは、植え替えではなく鉢あげ(根鉢を崩さないように取り出し、そのままの状態で大きい鉢に植え直す)をします。

lifcity というM L 統合サイト (?)の園芸部門内で、種や株 の交換に関するMLがあって、 そこで蓮根の配布をしてくださ る方がいらっしゃるのですが、 ML自体は稼働しているような のだけど、入退会のシステムが いまいちちゃんと動いているの かわからない状態で胸を張って お薦めすることができません。 関連掲示板もシステムエラーか 何かで一時全く書き込みできな くなって、園芸関係だけは別の 場所に新掲示板が立ったもの の、あまり書き込みが増えてい ないし.....

近所に自生地があっても、採取が禁止されていたら勝手に持ち帰っちゃダメですよ(種を拾う程度なら、品種交雑を防ぐことにもなるので構わないとは思うけど)

種から育てる場合、どんな性質の株に育つか予測がつかないのです(蓮の実生は親と同じ品種にはならない場合が多いので)。多少色や大きが違うだけならまだしも、花つきが極端に悪いものや気難しいものが出てくる可能性もあるので、あまり初む者向けの方法ではないと思いま

, e) の の の の が、試してみたい方は17ペー ジに実生栽培の方法をまとめて ありますので参考にどうぞ。

通販でも、だいたい2~3月頃 に受け付を締め切るお店が多い です

通販などでごくまれに、もう育ち始めている蓮の泥をわざわざ洗い落とし、水苔などでくるんだものを苗としいのですが、ことがあるらしいのですが、ことは育てるのが難しいだろうと思います。

でも根が詰まると花が咲かない という問題もあるので、その辺 は臨機応変に。

## その他

うちの場合の話ですが、ベラン ダの目の前に毛虫のつく木が生 えているため、春から夏にかけ て、よく毛虫が降ってきます。

また、落葉の季節には大量の落ち葉が鉢の中に降り注いで溜まってしまいます。

あるいは、カラスや野良猫のいたずら(メダカやヌマエビなどを一緒に飼おうと思うならそれを狙ってくる可能性もあります)も馬鹿にできません。

蓮(睡蓮も)は開花初日~散るまでのわずか数日間に、まるで別の花のような変化を見せます。

花弁の形や開き方から、ものに よっては色も大幅に変わってし まいます。

カタログやタグの写真を頼りに 好きな品種を選ぶ場合、このこ とを念頭に置いておく必要があ るかもしれません。

#### 宮川花園

スイレンと蓮を専門に扱っている生産者さんです。 春先は蓮根、5~8月くらいにはポット植えの苗を出荷 しています。栽培方法に関してやトラブル時のアドバイ スなどもして頂けるようで、安心できると思います。

URL...... http://www.h3.dion.ne.jp/~lotuses/

住所 ..... 大分県日田市上城内町 5-7

FAX......(0973) 22-4226 要発信者番号通知

E-mail ... miyagawa@b-net.kcv.jp

#### こちらのサイトは、蓮・睡蓮の 栽培方法やトラブルシューティ ングに関する情報も満載なの で、可能な方は是非一度覗いて みてください。熱帯性睡蓮の越

冬についてなどもあります。

こちらで扱っている睡蓮鉢は茶

碗蓮以外の蓮を育てるにはちょっと小さい気がします。 中型以

上の蓮を購入するのなら、器は別に用意した方がいいかもしれ

平成 15年の春・夏カタログには、10 種類が載っていましたが、16

年の春・夏カタログには睡蓮し か載っていなかったようです。

いきなり取り扱いをやめてしま

ったとは思えないんですが、い

ちど問い合わせた方がいいのか

もしれません。

いわゆる「園芸店」や「お花屋

さん」ではないので、相談事は

電話ではなくメールやFAX、BBS

でお願いしましょう

#### 春草園

山野草専門のお店ですが、珍しい品種の蓮を扱っています。 ウェブサイトもあるのですがトップページのみで、いつ見ても工事中なので、 直接連絡をとってカタログを取り寄せるのがよいと思います。

住所 ... 〒615-8283

京都市西京区松尾井戸町 64番の 1・65番・66番合地 Tel..... (075) 381-3271 FAX..... (075) 391-0076

#### 杜若園芸

水生植物全般を扱う生産・卸業者さん。取り扱い品種が とても多く、蓮・睡蓮以外のものも揃っています。

URL......... http://www.tojaku.co.jp/(会社のサイト)
http://www.akb.jp/(ウェブショップ)

住所 ...... 〒610-0121 京都府城陽市寺田中大小 68 番地 TEL........ (0774) 55-2287 FAX....... (0774) 55-7977

E-mail ... miyagawa@b-net.kcv.jp

その他探せばいろんな品種を扱っている業者さんがあります。

行田の「古代蓮の里売店」や、 千葉の東大緑地植物実験所のハ ス祭り会場ではベランダに最適 な小型蓮の鉢植えを売っていま した。

最近では町の花屋でも、つぼみ をつけた茶碗蓮を置いていると ころが増えています。

#### 植える容器

水を溜められるもの。丸くて中がシンプルなかたちの もの。軽くて丈夫なもの。大きさは品種次第。

中型~大型のカスピカムの場合、最低でも直径 40cm 以上、深さ 25cm 以上のものが必要です。地下茎が伸びれば伸びただけ花芽が着く可能性が高くなりますからできるだけ大きい方がいいのですが、深すぎても日当たりが悪くなったり水温が上がりにくくなってしまいます。

容器はなるべく丸くて、内部にでこぼこがあまりないものにしてください。プランターのような四角やひょうたん池のようなくびれた形だと、地下茎が途中で引っかかって地表に飛び出してしまったり、生長が遅れて花がつかなかったりしますし、細長い容器だと風でひっくり返ってしまう恐れがあります。また、内部に窪みやでっぱりがあると蓮根がそこにはまった形で形成されてしまって、植え替え時にうまく取り出せなくなる(容器を壊す羽目になったり、蓮根を傷つけてしまう)可能性があります。

ベランダ栽培では「軽い素材」というのも重要なポイントだと思います。陶器の鉢は見た目はかっこいいのですが、持ち込むのも一苦労だし、植え替え時にひっくり返すのも大変です。

手っ取り早いのは漬け物用に売られているプラスチックの桶。大型の蓮なら工具屋などで売っている作業用の円形の樽など。植木鉢や円形プランターの底穴を塞いで利用する方法もあります(水漏れに注意)、穴を塞ぐ栓付きのプランターを利用する手もあります。軽い桶に植えて、一回り大きいプランターに入れて外見をカモフラージュするという方法もいいかもしれません。

ほんとに最低限なので、なるべくならもう一回り大きい方がい いと思います。

水深は 5~15cm くらいあれば十分とのことですが、地下茎が伸びれば秋にはかなり土の表面が持ち上がってきます。冬の間水を張っておくことを考えると、植えつけ当時は土表面から容器の縁までの高さを 15~20cm くらいとっておいた方が安心な気がします。



例: 春の時点では10cm くらい は余裕があったはずですが、12 月にはほとんど水を溜める余裕がなくなってしまいました。 ギリギリです......

うちで最初に開花成功したのは「アクアデザインアマノ」の「小碗型陶製水槽 L タイプ (口径60cm、深さ 24.5cm)」に植えたものでした。が。これは容器の側面が斜めに傾いていて、立ち葉がつられて外側に大きく倒れて育ってしまいます。

その代わり、本来なら立ち葉が 出たら雨水はほとんど鉢に入ら ないはずなのに、雨がそのまま 水面に落ちてくれて、自動的に 水が補給されてましたが....。

もう少し側壁が立ち上がっている方が立ち葉がちゃんと立って る方が立ち葉がちゃんと立って くれると思います。そういう意味でもブラ樽はいい。 かと思っています。 うちで今カスピカム用に使っているのは、熊本の南国物産という水タンク業者さんから購入した 193L の水タンクです。 もともと屋外で水を溜めて使うためのものなので、紫外線や野ざらしによる劣化が遅く、お店によれば「屋外で 20 年以上使用可能」らしいです。ただ丈夫な分、ちょっと重いです。

以前は 193L が一番小さいサイズでしたが、最近 90L、31L というサイズもあるようです (193L は売り切れ中)。

#### 南国物産 問い合わせ先

URL...... http://www.mizutank.jp/index.html

住所 ...... 〒868-0821 熊本県人吉市上漆田町 3379-1

TEL......(0964) 32-3609 受注センター

FAX......(0964) 33-1502 受注センター

E-mail ... info@mizutank.jp

#### 土

#### 粘土質のもの(水保ち、肥保ちがよく重さのあるもの)

荒木田土 (あらきだつち) が入手しやすく安価です。非常に重い土なので、直接買いに行くならカートなどを用意しないと大変なことになります(配送してもらった方が無難)

**腐葉土**......荒木田土を使う場合、2割くらい混ぜます。 様子を見て粘りけが強すぎるかなと思ったら少し多めに、 と習ったのですが、どれくらいが丁度いいのか正直よくわかりません。また、ビオソイルの場合は、使ったことないのでわかりませんが混ぜなくても大丈夫なんじゃないでしょうか。

**苦土石灰**......病気予防にほんの少し(用土 20 リットルに対してカレースプーンで2すくいくらい......なのかな)土に混ぜます。買ってきた新しい土を使う場合は入れなくていいような気もします。逆に言えば、古い土を再利用するなら入れた方がいいです。

前出のアクアデザインアマノが 扱っている「ビオソイル」とい う水生植物専用土は天然湖沼土 だそうですから、蓮の栽培にも 最適なんでしょうけど、荒木田 土に比べるとちょっと高価&入 手先が限られます。

入れすぎてアルカリ性が強くな り過ぎると枯れてしまうことも あるそうですので要注意。 **肥料**.....本格的に取り組むなら、生育時期ごとに成分を調整したものを自分で混合して施すべきなんでしょうが、とりあえず挑戦するなら市販の粒状肥料でも大丈夫です。わたしは今のところ発酵済み油粕(骨粉入り)を使っています。化成肥料を使う人もいますし、いろんな方法があると思います。

園芸雑誌や専門書に「茹でた大豆と身欠きニシンか煮干しを元肥として使う」なんてことが書いてある場合があります。これは蓮博士として有名な大賀博士の方法らしいのですが、慣れない人は失敗する可能性が高いと思います。あまりお薦めできません。

その他……カラスや鳩などに水浴びをされる恐れのある場所で育てるなら、植えつけるときに鳥よけに何か障害物を立てておいた方がいいです。

また、ベランダ内を移動させる可能性があるなら、容器を キャスター付きの台に乗せてから土を入れて植えると後々と ても楽(日当たりに合わせて置き場所を動かしたり)。 手っ取り早くて効果が高いのは アサガオ用の円筒形の支柱。 支柱を立てるときは根を傷つけ ないように注意してください。

#### ◇◆◇ 蓮根が届いたら ◇◆◇

#### 用土の用意

土と腐棄土を混ぜて水を加えてこね、石や木の枝などが混ざっていたら取り除きます。固さはホットケーキ生地くらい ……とろとろ、というよりややもったりした感じかな(あいまいでごめんなさい)。なるべくなめらかになるように、ていねいによく練った方が効果的なようです。

苦土石灰を加えるなら全体に混ざるように薄く表面にまいて(一か所にどかんと塊で放り込まないこと)よく混ぜ込みます。

うっかり水を入れすぎてしまっても、数日経てば土が沈んで落ち着くのであまり気にしないで大丈夫。

土こねはかなりの重労働なの で、前もって少しずつ用意して おくのも手です。

一度に全量こねようとすると大 変だし、植えつけ容器の他に同 じくらい大きな器を用意しなく てはならなくなるので、最初に 土・腐葉土・石灰を半分にわけ て、片方は直接植えつけ容器の 中で、残りをパケツなどの中で こねるようにすると楽だと思い ます。

#### 植えつけ

用土の用意ができたら、まず、容器に土を半分入れます。 鉢の一番底の方に、肥料を少し(大玉の固形肥料なら5~6粒くらいかな)均等に埋め込んでから、土の上に蓮根をそっと置きます。蓮根は芽のある方に伸びていくので、容器のカーブに沿うような角度で置きます。

蓮根の上に少しずつ、残りの土を流し込んで埋めていきます。このときに、蓮根に直接触らない位置に肥料をもう5~6粒、埋め込んでおきます。

最後に水を静かに注いで完了です。

最初のうちは水深は少なめの方が、温度が早く上がって生 長しやすくなります。真夏は蓮自体が吸い上げる分量も増え るし、水面からの蒸発も早くなるので、多少多めに溜めてお いた方が無難だと思います。

◇◆◇ 日常の手入れ ◇◆◇

**とにかく水を切らさないこと。**水は成長期の春~夏はもちろん、秋に地上部が枯れたあとも必ず常に溜めておくようにします。成長期に水切れを起こすと致命的なダメージになる恐れがありますし、休眠期に水が枯れると蓮根腐敗病の病原菌が育ってしまう恐れがあるそうです。

それから**日当たりに気を配ること。**太陽は季節によってかなり角度が変わりますから、置き場を決めたときには一番日当たりのよい場所だったのに、気がついたら半分日陰に入っていた......なんてこともあり得ます。

大きめの容器なら、2~3個の 蓮根を一緒に植えても大丈夫だ そうです。ただし同じ品種にし てください。

違う品種を混ぜて植えると、株分けのときにはごちゃごちゃに絡んでどれがどれだかわかりにくくなります。

円周に対して直角に置かないように気をつけてください。 枯れ はしないでしょうけれど成長が 遅れる可能性があります。

蓮根が長い場合、節が3つ以上 あるなら2つ残して切ってしま っても構いません。

蓮根ではなく、市販のポット 植え苗や鉢植えを購入した場 合、原則そのまま植え替えシー ズンまで育てます。容器が小さ くて生長が滞ったとしても、枯 れることは滅をにありません。 翌年大きな容器に植えてあ げればちゃんと育ちます

鉢が小さすぎる場合は、根を傷めないように土ごとそっと取り出して、そのまま大きい容器に植え直すこともできます(鉢あげする)

夏の暑い日など、思った以上に 水が減ります。葉から大量に蒸 散しているようです。

朝に水やりをするときは、葉の 上に水滴を溜めないように気を つけてください。水滴がついた まま陽に当たると、レンズ効果 ですが焼けてしまうことがあり ます。 追肥は浮き葉が数枚出た頃(5月半ば)6月半ば~後半、7月中旬、の辺りで元肥と同じ固形肥料を元肥の半分くらいの量、葉の根元以外の場所(葉の根元は地下茎の節、つまり細い根が出ている場所なので避ける)に埋め込みます。丸い鉢なら地下茎はたいていドーナッツ状に這っていますから、追肥は鉢の中心にすると無難だと思います。

冬は水さえ気をつけておけば、東京近郊では水面が凍結しても地中は凍らないので大丈夫だと思いますが、寒い地方では玄関先やガレージなどに取り込んでおいた方がいいかもしれません。

肥料が足りなくなってくると、 葉の色が薄くなってくるそうで す。左のスケジュール通りでな くても、葉の色を指標に適宜追 肥をするという方法でもいいか もしれません。

取り込むといっても、暖房の効 いた部屋の中など暖かすぎる場 所に置くと、半端に芽が動き始 めてしまいます。

◇◆◇ 株分けと植え替え ◇◆◇

容器をひっくり返すか、少しずつそっと土を掘り返して別 のバケツなどに移しつつ、蓮根を掘り出します

土を再利用する場合は、古い蓮根のかけらや地下茎を取り除き(腐敗病の予防のため) 苦土石灰を少しと腐葉土を混ぜてこね直します。

どんな作物でもそうですが、何年間も全く同じ土を使い回すのは避けた方がいいのではないかと思います。

再利用するときも、できれば半分くらい新しい土を追加した 方がいいかもしれません。 東京近郊の場合、ソメイヨシノ が咲いて散るころが植え替え時 です。

芽の部分を折らないようにてい ねいに。

古い土をどこかに溜めておくことが可能なら(庭があるとか、ベランダに無意味な鉢をひとつ置いておける余裕があるとか)、腐葉土をたっぷり混ぜてシートなどでフタをして、1年間ゆっなり休ませると良い土に生まれ変わります。

蓮の実は堅い皮におおわれているため、そのまま土に蒔いてもいつ発芽するかわかりません(場合によっては何百年もそのまま休眠しています)。確実に発芽させるためには、発芽処理を施す必要があります。処理はいろんな方法があるらしいですが、素人でもやりやすいのは単純に種皮に傷をつける方法だと思います。

手間はかかっても失敗が少ない方法は、ヤスリでガリガリ削って胚乳(白い実の部分)がちらっと見えるくらいの状態にすることです。種皮はとにかくガチガチに硬いのでヤスリで削るのはかなり難儀しますが、削りすぎて芽を傷つける心配はまずありません。

手っ取り早いのは良く切れるハサミで種の端をバチンっと 切り落としてしまうことですが、うっかりすると中の芽を傷 つけてしまう可能性があります。

傷をつけた種をそのまま土に埋めてしまうと雑菌が入って腐ったり虫に食べられてしまったりするので、芽が出るまではコップなどに水を張った中で育てます。

無事芽が伸び始めたら、蓮根を植えるときと同じように土 に植えつけます。

最初から大きいサイズの容器に植えてしまってもいいです し、とりあえず小さい容器で育てて、大きくなってから鉢あ げしてもいいと思います。

苗が小さいうちは地下茎も細くて柔らかく、虫などに喰われやすいので注意してください。

蓮の種をよく見ると、とんがった部分(花托から飛び出していた方)と、くぼんだおへそのような部分(花托に埋まっていた方)があります。 芽はくぼんだ方から伸びてきま



グラインダーやネイル用の電動 ヤスリがあれば案外楽にできる かもしれません

種皮に傷をつけるとき、とんがった方とくぼんだ方とどちらにつけても構いませんが、くぼんだ方とけるなら、芽には傷をつけないように注意してください。

#### 毎日水を換えます

土に植えるタイミングは、「最初の芽が5cmくらい伸びたら」とか「最初~2番目の葉が開くくらいになったら」とか、資料によって違うんですが、個人的にはあまり小さいうちに土にまくのはなんとなく怖いので、かなと思います。その代わり生長は多少遅くなるかもしれませんが……

幸いにして今まで病気に遭遇したことがありませんが、 「蓮根腐敗病」はどこで聞いても一番恐ろしいと言われます。 成長中の蓮が突然枯れ出すのだそうです。

予防策は「植えつけ時にごく少量の苦土石灰を混ぜる」「冬 も水を切らさない」「枯葉や古い蓮根は取り除く」とのこと。 万が一発生してしまったら、あきらめて蓮も土も廃棄処分し てください。

虫の害はベランダの場合そんなにひどく起きないようですが、周囲に大きな木が生えている場合、そこから毛虫や芋虫が落ちてきて葉を食い荒らすことがあるので気をつけてください。アブラムシなどは見かけたら水で洗い流してしまえばいいと思います。

サカマキガイやモノアライガイが大量発生してしまったと きは、根気よく摘み出すか、薬品を使って退治します。

藻や浮き草は水温上昇の邪魔になるので、目立ってきたら 取り除きます。 害虫対策は基本的には一般的な 植物と同じです。

大量発生しない限りそれほど怖 がらなくても大丈夫です。



◇◆◇ 元気の良い花を咲かせましょう◇◆

# 参考文献 🕉

自分で持っているものや読んだことのあるものをご紹介。 はとくにお薦めのものです。図鑑や育て方の本の他、「蓮 の本」ということで写真集なども掲載しています。

#### 和書

『花はす栽培 花宇宙の魅力を探る ...

榎本輝彦, 蓮蹊香園, 2002年

レンコン栽培業者の方が自費出版した、現在日本で比較的楽に入手できるほとんど唯一の 花蓮栽培書。蓮の基本知識から育て方、トラブルシューティングまで一通り網羅していて、 蓮を育てるだけならとりあえずこれ1冊読めば困ることはないと思える本です。

一般書店では販売されていないので、メールで直接申し込みます(送料別、5250円)。 詳しくは蓮蹊香園のウェブサイトhttp://www.j-lotus.org/renkei/start.htmへ。

#### 『魅惑の花蓮』

渡辺達三、社団法人日本公園緑地協会、1990年

実際の栽培に関してはあまり詳しくありませんが、品種解説や蓮の基礎知識が細かく書かれています。チュチュを着た女性が蓮の合間でバレエのポーズをとっているという、ちょっと不思議な写真も載ってます......ミスマッチなんだか幻想的なんだか......

『水草の観察と研究 グリーンブックス 10』

大滝末男, ニュー・サイエンス社, 2001年重版

水生植物全般が対象で、中に蓮・睡蓮についての項目が少しあります。

『近江妙蓮 世界でも珍しいハスのものがたり 別冊淡海文庫9』

中川原 正美、サンライズ出版、2002年

近江妙蓮の特殊性を説明するため通常の蓮についての記述も詳しく、わかりやすく書かれています。

19

『南越前・蓮田の四季 落井一枝写真集』

落井 一枝, 東方出版, 2003年

日本一の花蓮産地、福井県南条郡南条町の蓮の四季を写した写直集。

早春の新芽、見渡す限り満開の花、水に浮く落花、それから霜に覆われ、氷に閉じこめられた冬の枯蓮まで、身近に蓮があればこその写真満載です。

『花の絵本3 スイレンと熱帯の花』

倉下 生代(文),久山 敦(写真),咲くやこの花館(監修), 東方出版, 2000 年 スイレンを中心に、熱帯の花を集めた写真集。

解説は大阪の「咲くやこの花館」の主幹の方らしいのですが、素人目にも疑問の残る品種名紹介があったり(詳しい方にとってはもっと気になる部分が多いのではないかと思われます)解説文にあれもこれも盛り込もうとしたのか写真とちぐはぐ(写真は全て熱帯性であるのに、解説文は熱帯性と耐寒性入り混じった記述なので、揃うはずもないのだけど)だったりするため、写真集として見るには満足できるのですが、資料のひとつとして見ようとするには心許ないかもしれません。

でもとにかく写真満載で楽しめる一冊です。

#### 洋書

<sup>™</sup>Complete Guide to Water Garden Plants<sub>™</sub>

Helen Nash with Steve Stroupe, Special Photography by Perry D. Slocum & Bob Romar, 2003, 224pages, paperback

写真が充実しています。また、植え方、育て方から株分けや病害虫についての記事も写真 入りで詳しく載っていて、実際に育てる上でとても参考になります。基本の一冊、と言える のではないでしょうか。

1998 年発行の『Aquatic Plants & Their Cultivation: A Complete Guide for Water Gardeners』、1999 年発行の『Plants for Water Gardens: The Complete Guide to Aquatic Plants』と、どうやら体裁とタイトルが違うだけで中味は全く同じもののようです。

20

"Water Gardening: Water Lilies and Lotuses "

Perry D. Slocum & Peter Robinson with Frances Perry, 1996, 322pages, hardcover ハードカバーの重くて立派な本。文章ページが多く、読み応えがありすぎてきちんと読み込むのは辛いかもしれません (実はわたしもとばし読みしかしてない( $^{\prime\prime}$ ;) けれど、栽培品種のカラー図版がたくさん載っているため、写真を眺めているだけでも幸せな気分になってしまう本です。

蓮好きは必読……と言われる本ですが、残念ながら現在は入手困難です。でも Amazon.com や Amazon.co.uk を見ていると結構コンスタントに古書出品されているので、まったく入手不可能というわけでもない模様。

1997年、1999年と増刷されているし、新たに増刷または新版が出ると嬉しいのですが.....。

『The Pond Doctor: Planning & Maintaining a Healthy Water Garden 』
Helen Nash with Photographs by Ronald E. Everhart, 1997, 160pages, paperback
池の計画作成から始まってメンテナンスまでを一通り網羅しているウォーターガーデニン
グ入門本。

蓮のことはあまり載っていませんが睡蓮(主に耐寒種)に関してはかなり充実しています。 環境の違いを考慮しても、実際に育てる上で参考に出来る部分が多いと思います。読みやす くてお薦めの一冊。

オリジナルはハードカバーで 1994 年に発行。

"The Super Simple Guide to Container Garden Pondsa

Derek Lambert, 2004, 128pages, paperback

コンテナウォーターガーデニングの入門書。

「水を溜められる容器なら何でも使える」という言葉から本文が始まるように、全体に「あれこれ悩まず気楽に楽しみましょう」という雰囲気が漂っていますが、子どもの水難を防ぐために、とか、きちんと押さえるべきところは押さえています。

英語に詳しくないので自信はないのですが、かなりラフな文体(R氏に聞いたら「口語丸出し」らしい)で、単語さえ引けば読みやすいと思います。単純に読み物としても面白い本です。

"Water Gardening in Containers: Small Ponds Indoors & Outa

Helen Nash & C. Greg Speichert, 1999, 128pages, paperback

タイトル通り、コンテナウォーターガーデニングのノウハウが詰まった一冊。微生物農薬の使用が当然のように薦められていたりして、文化の違いに驚く部分もありますが、鉢底穴のふさぎ方やレイアウトのアイディアなど、池を持つのが難しい我々日本人にも大いに参考になる内容の本です。

オリジナルはハードカバーで 1996 年に発行。

#### 雑誌他

『サライ』 小学館、毎月第1&第3木曜日発売

「2001年14号」

特集3 江戸の風流あそび 睡蓮鉢で水草や金魚を愛でる(9P)

「2003年14号」

小特集 江戸の夏の風物詩 「天上の花」蓮を卓上で育てる (6P)

サライはこの他にも金魚の特集をやったりしていて目を離せない雑誌です。

『趣味の園芸』 日本放送出版協会,毎月16日発売

「2001年7月号」

水辺の寄せ植え、楽しみ方(10P)

とくに蓮・睡蓮について書かれているわけではありませんが関連はあるので。睡蓮を寄せ 植えに組み合わせて育てたりすると面白いのではないかと思います。

「2003年7月号」

初めてのハス栽培(10P)

蓮の植え方・育て方。個人的には肥料に煮干しを使うことには疑問もあります(うまく行ってる人も多いみたいだけど、なんとなく失敗しそうで怖い)が、植え替えの手順が写真入りで詳しく解説されているのは参考になります。

「2004年7月号」

モネが愛したスイレン (5P) 小鉢でつくる水辺の植物 (7P)

スイレンの植え方・育て方。わかりやすくまとまっているのではないかと思いました。その他「モネの庭」の特集として、フランスのモネの庭の取材記事や浜名湖花博の「花の美術館」の記事もあります。

『園芸ガイド』 主婦の友社、奇数月8日発売

「2003年8月号[夏]」

「ヒメスイレン」(2P)

見開きたった2ページの小さな記事だけれど、ヒメスイレン限定で書かれているのでかなりわかりやすかったです。

「2004年6月号 [初夏]」

特集:ウォータープランツで初夏から夏をさわやかに演出しよう!(8P)

「趣味の園芸 2001 年7月号」と同じく、とりわけ蓮・睡蓮の情報があるわけではありませんが、室内園芸用の「セラミスグラニュー」という素焼きの粒状の用土を使って植えるというのが興味深いです。

『楽しい熱帯魚』 白夜書房,毎月11日発売

「2003年9月号」

睡蓮を楽しむ! (5P)

熱帯魚の専門雑誌ですが、アクアリウムやビオトーブ繋がりで水草関係の記事も多いようです。とくにこの号は参考になるので、見かけたら入手することをお薦めします。

「2004年8月号」

再びのスイレン特集。今年は図鑑やウンチクが中心です。

『週刊 花百科 No.18 はすと睡蓮』

講談社が2004年現在出している週刊シリーズの18号(2004年6月17日発売)。 以前出ていた花百科とはまたちょっと違った視点もあって面白かったです。

『调刊 四季 花めぐり No.40 睡蓮・蓮』

小学館が2003年に出していた週刊シリーズの40号。

他の週刊シリーズの本とちょっと趣が違い、花の名所を紹介することにポイントを絞っていました。栽培に関する情報はありませんが、蓮を見に行くときの参考にお薦め。

# ◎ 蓮と睡蓮の見分け方 ◎

## 睡蓮

花

中心に雌しべがかたまってついていて、一見バラバラの雌しべが密集 しているように見えるけれど、根元は繋がっている。 花の色に紫がかった青系の色がある(熱帯性) 咲き終わると閉じて水中に沈み、そのまま腐って種を散らす。 耐寒性睡蓮・熱帯性睡蓮があり、熱帯性には夜咲きの品種もある。





葉柄は柔らかく、葉には切れ込みが入っている。表面はつやつやしているものがほとんど。 葉も花も、水面から多少持ち上がることがあっても

蓮のように高くそびえることはない(熱帯種の方が立ち上がることが多い)。

茎はなめらかなものが多い(トゲがあっても蓮ほどではない)。



IND [

種類によって多少違うが、蓮のように地下茎を長 く伸ばすことはない。

花も葉も、成長点のある部分からまとめて生えて くる。

殖え方

種でも増えるが基本的に自家受粉しにくいつくりのため、同じ品種が欲しいなら株分けする(株が増えない品種もあるらしい)。 熱帯性では葉にムカゴを作って増殖するものがある。また、希に花から子株を生やすものもある。

## ● さて、おしまいです ●

花

台のような花托の上部に、雌しべが粒のように頭を出した状態で埋まっている(雌しべはバラバラに存在する)。

花の色は白、赤、黄色の組み合わせで、睡蓮のような青紫は存在しない。 花弁は螺旋状についていて、妙蓮以外は咲き終わると散る。

葉は堅くしっかりした葉柄を持ち、ほぼ円形。表面には細かい毛が生えていて撥水性がある。

葉も花も水上に高く立ち上がる (浮き葉は別)。 茎にはトゲがある。







土の中で地下茎をぐるぐる長く這い回す。 葉・根・花は地下茎の節の部分から生えるので、地下茎がたくさん伸びられる場所があればそれだけよく育ち、花をつける(逆に言えばあまり小さい容器で育てると、花が極端に減るか咲かなくなる)。

雌しべが変形していたり、雄しべがなかったりする品種以外は自家受粉できるが、自家受粉でも親と同じ性質を持てない場合が多い。とくに品種改良で作られたものは親とかけ離れた子が育つ可能性もある。同品種の増殖には蓮根を利用する。

殖え方

迷走状態だった改訂版もどうにか発行にこぎ着けそうです。

この本はあくまでも、わたし個人(= たかだか3、4年の栽培経験しかないずぶの素人)の経験に基づいて書かれています。どんな本でもそうだと思いますが、すべてを鵜呑みにはせず、他の本や資料(ウェブサイトや研究所、植物園、資料館など)も活用して、各々の生活環境に合った育て方を見つけてください。

まあ、適当にやりすぎるのは考え物ですが(蓮を育て始めた当初の自分の行動をあとから振り返ると「何であんなことしたんだろう……」ってことも多いです)、あんまり神経質にならなくても、「最悪でも枯れなければ来年につながるんだ」という前向きポジティブシンキングで行きましょう。

「そんないい加減に育てるなんて、本当の蓮好きとは言えない!」ってお叱 りを受けてしまうかもしれませんけど、枯らさなければいつか花も咲きます。 咲いた花を眺めていれば、「よし、次はもっと元気に咲かせてあげよう」って気 分にもなるでしょう。実際わたしはそうやって3年かかって咲かせました。

手にとっていただきまして、ありがとうございます。

この本が少しでもあなたのお役に立ちますように

『ベランダで蓮を育てる本・追補版』2004/08/15 発行ASIA

連絡先

E-mail: siva@netlaputa.ne.jp

Web Site: http://www.netlaputa.ne.jp/~siva/

